

《参考資料》① 第4次古賀市子ども読書活動推進計画 体系図

【愛称】

## 子ども読書プラン

【テーマ】

いつも本をそばに ～本がはぐくむ 子どもの未来～

【方向性】

子どもが読書の楽しさや知る喜びを実感することにより、自ら進んで読書に親しみ、心豊かに成長することをめざす

	施策	主な取組内容			
【基本目標1】 さまざまな場面(機会)で読書と出会い、楽しむ『幅広い環境づくり』	(1) 家庭で読書と出会う環境づくり	①「ブックスタート」「セカンドブック」の継続 ②保護者へのはたらきかけ ③妊娠期からのきっかけづくり ④家庭での読書時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>■家庭での読書がとぎれないよう「ブックスタート」「セカンドブック」を継続</li> <li>■読書への関心をより深めるための啓発</li> <li>■妊娠期からの読書の大切さを伝え、親しんでもらうための啓発</li> <li>■家族ぐるみで読書を楽しむ雰囲気づくり、ゲーム・インターネット等利用時間のルールづくり</li> </ul>	!重点	
	(2) 地域で読書に親しむ環境づくり	①地域に本がある環境づくり ②放課後に本がある環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域文庫や子育てサロンなど、地域で身近に読書に親しめる場を提供</li> <li>■児童館・児童センター、学童保育所で子どもが本にふれる機会を増やす</li> </ul>		
	(3) 保育所(園)・幼稚園等で読書に親しむ環境づくり	①日常的な読み聞かせの継続 ②絵本コーナーの充実 ③保護者へのはたらきかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの成長に合わせた日常的な読み聞かせや、読書ボランティアによるおはなし会を継続</li> <li>■一人ひとりの子どもに合わせて本が選べる絵本コーナーの充実</li> <li>■定期的に絵本の貸出しができる環境づくり</li> <li>■読書習慣の大切さを伝える</li> </ul>	!重点	
	(4) 学校で読書を定着させる環境づくり	①司書教諭と学校司書の連携 ②蔵書の更新 ③本を手に取りやすい環境づくり ④読書活動の推進 ⑤市民に開かれた学校図書館づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの自主的な読書活動をさらに推進</li> <li>■子どもの多様な興味・関心等にこたえる資料の収集・更新</li> <li>■親しみやすく利用しやすい図書館づくり</li> <li>■本と親しみ、読書習慣を身につける</li> <li>■図書委員会が中心となったさまざまな読書活動を推進</li> <li>■地域住民の学びの場づくり(学校図書館の開放)</li> </ul>	!重点	
	(5) 市立図書館等での環境づくり	①本と気持ちよく出会える場づくり ②児童書の収集・更新 ③さまざまなイベントの展開 ④中・高校生へのはたらきかけ ⑤支援が必要な子どもへのサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■来館しやすい雰囲気づくり</li> <li>■企画展示やおすすめの本の紹介等の工夫</li> <li>■子どもの多様な興味・関心にこたえ、調べ学習に活かせる資料の充実</li> <li>■おはなし会や工作・科学あそびなど、さまざまな角度から本との出会いの場を提供</li> <li>■読書へのさらなる興味・関心を高める</li> <li>■電子図書館サービスの利用を促進</li> <li>■布絵本や点字絵本、外国語絵本等の多様な資料を収集</li> </ul>	!重点	
【基本目標2】 さまざまな人(機関)との『ネットワーク』と『共創』	(1) 家庭へのはたらきかけの強化	①保育所(園)・幼稚園等から家庭へ ②読書ボランティアから家庭へ ③学校から家庭へ ④市立図書館等から家庭へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■読書に関するイベント情報等を提供</li> <li>■家庭や地域の中で本とふれあう機会をつくる(読書ボランティアによるおはなし会等)</li> <li>■家庭での読書の定着を図る(「図書館だより」「家庭読書の日」の取組等)</li> <li>■子どもの読書に関する啓発冊子を作成</li> <li>■身近に本と親しめるよう読み聞かせ等の取組を推進</li> </ul>		
	(2) 保育所(園)・幼稚園等と読書ボランティアとのつながりの強化	①読書ボランティアとの連携	■保育所(園)・幼稚園等と読書ボランティアの交流や連携		
	(3) 学校との連携をさらに推進	①読書ボランティアとの連携 ②保育所(園)・幼稚園等との連携 ③市立図書館等との連携 ④その他の機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「朝の読書」や「おはなし会」を今後も継続</li> <li>■読書意欲や関心を高めるための啓発</li> <li>■子ども同士の交流をととして、読書活動を広げる</li> <li>■学校からの要望を踏まえたセット貸出の実施</li> <li>■パソコン端末を活用した電子図書館サービスのあり方を研究</li> <li>■異年齢の子ども同士が交流をととして読書と親しめる取組の実施(学童保育所でのおはなし会等)</li> </ul>	!重点	
	(4) 市立図書館等との共創	①保育所(園)・幼稚園等への支援 ②読書ボランティアとの連携と支援 ③市立図書館と学校図書館の連携 ④他の公共機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市立図書館の蔵書を活用した団体貸出や、読書活動に関する情報を提供</li> <li>■ボランティア団体同志の交流会や連絡会等の充実</li> <li>■各機関との連携を強化</li> <li>■子どもの読書意欲や問題解決に効果的にこたえるために連携を強化</li> <li>■各機関との相乗効果を意識したイベントや相互PR</li> <li>■市立図書館との連携によるコーナーの充実</li> </ul>	!重点 !重点	
【基本目標3】 さまざまな手段(手法)による『新たな時代への対応』	(1) 新たな読書スタイルへの対応	①電子図書館サービスの充実	■電子図書館サービスの周知・充実	■紙の本と電子書籍、それぞれの効果的な使い方を研究	!重点
	(2) 魅力や情報の発信	①ホームページやSNS等の充実 ②広報紙・ポスターでPR強化 ③メディアへの情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>■わかりやすく、親しみやすい情報提供</li> <li>■市立図書館のSNSを開設</li> <li>■おすすめの本の紹介やイベントのPR</li> <li>■より伝わりやすいチラシやポスター等の紙面づくり</li> <li>■子どもの読書活動にかかわる取組を効果的に発信</li> </ul>		!重点
	(3) 新たな人材の発掘・養成	①読書ボランティアの養成	■新しい人材の確保や担い手づくりを支援		!重点
	(4) 資源をフルに活かし、新たな連携	①大学との連携を促進 ②企業との連携を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大学のさまざまな知識や技術を活かす(官学連携イベント等)</li> <li>■市立図書館の「雑誌スポンサー制度」を拡充</li> <li>■「社史」「企業紹介パンフレット」等を収集</li> </ul>		
	(5) 利用しやすい図書館づくり	①“古賀の誇り”コーナーの充実 ②企画展示コーナーの充実 ③子どもが気軽に利用できる図書館へ ④「こがめルーム」の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■古賀市出身の著名人や歴史的遺産を紹介する「郷土資料コーナー」の充実</li> <li>■子どもが読書に興味を持つような展示コーナーの充実</li> <li>■乳幼児が利用しやすい時間帯を設定する「赤ちゃんタイム(仮称)」等の実施</li> <li>■おはなし会のほか、調べ学習や絵本を読み合えるスペースとして活用</li> </ul>		